

世界史 授業 No.20 テーマQ.&A.プリント

1. 今日のテーマ・クエスチョン

カニシカ王の仏教利用とその結果とは？

2. テーマ・アンサーのキーワードをピックアップ

※教科書該当ページ（P. 37）の中から見つけよう！

前4世紀にインド初の統一王朝である（ 1 ）がガンジス川流域におこった。前3世紀の（ 2 ）は南端部をのぞくインドの大部分を統一し、ダルマ（法、倫理）による統治をめざした。また仏教を保護して、仏典の編集事業や各地への布教をおこなった。しかし王の死後、マウリヤ朝は急速に衰退した。

（1）の衰退に乗じて、西北インドにはギリシア人やイラン人が進出してきた。紀元後1世紀になるとアフガニスタンから進入した（ 3 ）が西北インドを支配した。この王朝は2世紀のカニシカ王のときが最盛期で、ローマや中国との東西交易で繁栄した。

この時代に、仏教のなかから、すべての人の救済をめざす（ 4 ）という新しい運動が生まれた。また仏像もつくられるようになり、（ 5 ）として、（4）とともに各地に広まっていった。

西北インドを支配した（3）に対し、中部から南部にかけて成立した（ 6 ）は、ローマや東南アジアとの海上交易で栄えた。この王朝のもとで、バラモン教や仏教が南インドにも広まった。

<記入欄>

- 1 () 2 () 3 ()
4 () 5 () 6 ()

3. 今日のテーマ・アンサー（テーマ・クエスチョンの答）確認

※今日のノートに取った内容や2.でピックアップしたキーワードを参考にしよう。

T. Q. 「カニシカ王の仏教利用とその結果とは？」

T. A.

[①]系クシャーナ族のカニシカ王は圧倒的大多数の[②]人を「心から服属させる」ために仏教を利用し、自らも熱心な仏教徒であった。そしてヘレニズム文化の影響で[③]が作られ、仏教はより宗教らしい[④]仏教が中心になった。また[⑤]美術が生まれ、[④]仏教とともに中国・日本へも伝わった。

<記入欄>

- ① [] ② [] ③ []
④ [] ⑤ []

[] 年 [] H No. [] 氏名 []